

令和2年6月期月次景況調査結果

この調査結果は、中小企業庁の指定事業に基づいて設置された山口県内の情報連絡員 60 人に、本会が新たに選んだ 20 人を加えた 80 人の連絡員より業界動向を把握した結果です。

令和2年6月の景況DI値は、一部業種において好転したことから、全体では前月に比べ若干上昇したものの、引き続き、リーマンショック発生時と同程度の水準で停滞している。

新型コロナウイルス緊急事態宣言の解除による経済活動の再開により、徐々に回復の傾向はみられるものの、売上や収益の状況は、未だ、感染拡大前には程遠く低迷しているとの報告が多い。

足元においては、感染者が増加していることから、再び経済活動が停滞する懸念もあり、今後も厳しい状況が続くと予測しており、先行きを不安視している声が多い。

山口県の主要指標 DI 値 (令和2年6月末現在)

※DI値とは、前年同期に比べ「増加」・「好転」したとする企業割合から「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値です。

業界の景況 (< 好転 > - < 悪化 > = < DI 値 >)

前年同月比は、好転：0.0% 悪化：66.3% DI値：▲66.3% ポイント

売上高 (< 増加 > - < 減少 > = < DI 値 >)

前年同月比は、増加：6.3% 減少：67.5% DI値：▲61.2% ポイント

収益状況 (< 好転 > - < 悪化 > = < DI 値 >)

前年同月比は、好転：6.3% 悪化：61.3% DI値：▲55.0% ポイント

山口県の業種別 DI 値(業界の景況) (令和2年6月末現在)

 30 以上	 30 未満～ 10 以上	 10 未満～ ▲10 以上	 ▲10 未満～ ▲30 以上	 ▲30 未満
--	--	---	--	---

食料品	織 維 工 業	木材・ 木製品	印 刷	窯業・ 土石製品	一 般 機 器	輸 送 機 器	全 製 造 業
▲77.8	▲33.3	▲66.7	▲100.0	▲66.7	▲37.5	▲50.0	▲60.6
							

卸売業	小売業	商店街	サービ ス業	建設業	運輸業	その他	全 非 製造業	全 体
▲60.0	▲100.0	▲100.0	▲81.8	▲36.4	▲57.1	▲100.0	▲70.2	▲66.3
								

特記事項（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）

食料品	新型コロナウイルスの影響により、まだまだ売上が伸びない模様。	調味料製造業
	少しずつ進物の需要が戻ってきたが、依然として公共交通機関の減便の影響もあり、回復には程遠い。7月1日よりのレジ袋有料化への対応はほぼ完了。バイオマス袋は割高なため、組合員のバイオマス袋導入率は10%程度となり、90%は有料化となった。	パン・菓子製造業 山陽小野田市
	ほとんどの取引先が営業を再開したが、以前のようには戻っていない。給食の実施日が昨年より増えたため、売上は増加している。	パン・菓子製造業 下関市
	売上は6/22時点で対前年▲11.2%。新型コロナウイルス緊急事態宣言解除後、徐々に売上・利用者数は回復してきている。週ごとの売上は、第1週が▲11%、第2週が▲29%（土日雨の影響が大きい）、移動制限解除後の第3週は▲2%とほぼ前年並みの水準まで回復した。首都圏への業務用鮮魚出荷はまだ本格的な回復が見られず低調。アルコール消毒液やペーパータオル等、感染防止対策用の消耗品の使用が大幅に増え、年間で換算すると大きな出費増となりそう。	水産食料品製造業 萩市
	新型コロナウイルスの感染拡大防止の、販売先（特に観光土産店）の休業等で大幅に売上が減少した。その上、原料となる魚（特にタレロイワシ）の水揚量も減少し買付けが激化しており、異常な高値が続き非常に厳しい状況である。	水産食料品製造業 長門市
	新型コロナウイルスの影響を受けて、実習生の入国が出来ず人手が不足している企業や、仕事量が減り実習生の収入が減っている企業もあると聞く。今はまだそこまでの影響はないもようだが、この状況が続くと厳しくなる可能性がある。技能実習生や技能実習生を雇入れている企業に給付金等の援助があればいいと思う。	水産食料品製造業 下関市
	新型コロナウイルスの影響による売上減少が続いている。	
	新型コロナウイルスの影響で、いまだに売上減少が続いている。5月のような激減ではなく、悪いながら戻る傾向にある模様。給付金効果が一時的に表れたのも見て取れる。人ごみに出向くのは皆怖いようで、新型コロナウイルス感染拡大の状況下で学んだ自粛の姿勢や衛生に関する取り組みが習慣付き、今しばらくはこの傾向にあると思う。東京の新型ウイルス感染者の数値が不安だが、そこが担保できれば徐々に回復するのではないかと考える。	

	<p>新型コロナウイルス緊急事態宣言も解除され、ある程度落ち着き小康状態となった。しかし、休業要請を中心とした政府のウイルス対策等により自粛ムードが広がり、6月も記録的な不況となった。今後は経済活動の再開に向けた中小企業向けの支援対策を早急に充実させることが必要となる。そのためには、これ以上、新型コロナウイルスが蔓延して、感染爆発をおこさないような、厳格かつ適正な対策が必要だと考える。コロナウイルスに関するPCR検査が各自治体において、迅速に行えるような体制整備について、積極的に支援するとともに、感染者を隔離する体制の構築が必要である。また、今後のコロナ対策に関しては、国民の自主的なソーシャルディスタンス活動による集団免疫対策を講じることで、経済活動との両立を図ることが必要となる。</p>	精穀・製粉業
繊維工業	<p>中国人技能実習生の来日予定がコロナ問題で未だに来日できず、派遣会社は何時になるかわからないと話している。コロナ問題で主要取引先が休業し、販売低下、在庫増となり6月以降の受注が大幅に減少の見込みで、6月からやむを得ず操業調整をしている。当面9月まで6日/月平均、臨時休業を実施の予定である。</p>	下着類製造業
	<p>新型コロナウイルスの影響で、生産受注はネット販売が増加し、店舗販売分が減少しているが、全体ではあまり変化はない。</p>	外衣・シャツ製造業 山口市
	<p>製造指図数量が徐々に回復しているが、まだ十分でなく、7月も新型コロナウイルスの影響が出そうである。</p>	外衣・シャツ製造業 山陽小野田市
木材・木製品	<p>製材7社の平均売上高は、対前年同月比で20%の減少となっている。原因は、消費増税以降の落ち込みに加え、更に、新型コロナウイルスの影響が加わったためとみられる。</p>	製材業・木製品製造業
印刷	<p>新型コロナウイルス感染拡大に伴う外出の自粛、イベント、会合等の中止の長期化により、多くの業界の各企業体力は削り取られている。緊急事態宣言が解除になり、経済活動が再開となったとはいえ、今後すぐに景気が回復するというわけにもいかず、資金繰りを含めて厳しい状況は、まだ続くのではないかと予想される。このような状況の時こそ、国、地方の積極支援が必要であると感ずる。</p>	下関市
	<p>最近では仕事量が減少の傾向にあるが、6月は新型コロナウイルスの影響も加わって受注がますます低下。工場では相変わらず従業員を交代で休ませ、設備操業度も低下。</p>	山口市
窯業・土石製品	<p>出荷量は、 (令和元年6月) 骨材 92%、路盤材 89%、再生材 102%</p>	砕石製造業

	↓ (令和2年6月) 骨材 111%、路盤材 77%、再生材 86%	
	出荷量は、前月比85%、前年同月比89%。現時点では、セメント・骨材等の資材調達は、特に問題は生じていない。生コン販売価格は安定している。	生コンクリート製造業
	石材業界での新型コロナウイルスの直接的な影響はほぼ無いと言っているが、新型コロナウイルスの影響を受けた人が、この先に物品購入する時に、石材業界の位置付けをどうするかにより影響が出るのではないかと心配している。	石工品製造業
	6/19に県をまたいでの移動自粛の解除を受け、萩市内では県外からの観光客が多少増加し、若干の回復をみせた。それでも、売上は前年同月比で遠く及ばず、厳しい状況。今後は県外からの観光ツアーに期待したい。百貨店や大都市小売店などからの受注も回復せず。窯元では未だ生産を見合わせているところが多い。6月の前年比売上について12事業所のうち9事業所からの回答があり平均36.0%。また、萩焼協同組合のHP、ECサイト、組合員のHP、ECサイトについては、業者が決まり、これから急ピッチで制作を進める予定である。	陶磁器・同関連製品製造業
一般機器	外国人技能実習生が入国出来ない。次回受入れの面接が出来なくて困っている。	岩国市
	5月と同様、新型コロナウイルスの影響はあまり感じられなく、組合員企業は、前年と変わらない業績となっているようだ。時期的に少し仕事量が少ないという企業もあるが、そこまでの変動はない模様。しかしながら、11月以降から仕事量が減ってくると予測を立てている企業が多い。	下松市
	新型コロナウイルスの影響で受注が減少し、残業も以前に比べて減少している。一部企業では一時帰休を実施している。	周南市
	新型コロナウイルスの第2波が待ち構えており油断がならない。自動車関連で、マツダは7月から生産を復旧するが、6月は5月に引き続き生産調整が行われているので、苦しい状況である。建設関係は、現在のところ5月同様良い水準で推移している。高圧容器を製造する組合員は、昨年からの懸案事項であった中国からの受注が決まったので、長期間の生産活動が維持できる。雇用調整助成金などの手続きが、今月上旬に簡素化されたためやり易くなったが、手続きが目まぐるしく変わり、中小企業にとって相当な時間損失があった。	防府市

	<p>新型コロナウイルスの蔓延による影響で、製造業、食品加工業において事業縮小が認められ、休業補償を利用する企業が増加の傾向にある。介護、スーパーについては人手不足感が顕著である。今後の展開は予断を許さないが、新型コロナウイルスの収束を見据え、外国人技能実習生、特定技能外国人の受入れを増員する要望は多く、リモートでの面接により準備を進めている。なお、技能実習生の入国、帰国に支障が生じており研修のスケジュール調整に苦慮している。企業においても受入れの準備時期に苦慮している。</p>	宇部市
	依然として新型コロナウイルスの影響による先行きの見えない状況が続いており、厳しい状況に変わりはない。	
輸送機器	直接的ではないが、コロナ禍の影響が有る。部品入荷の遅れから生産計画のズレ込みが出ている。操業の落ち込みによる受注への影響が有る。鉄道車両では輸出案件のズレ込み、輸出以外の案件も生産計画の見通しがはっきりしない状況。半導体は高い作業量水準が継続している。産業プラント部門が下松からの撤退発表を機に調整作業になっている。	鉄道車両・ 同部品製造業
卸売業	売上は前年同月比17%増であり、コロナの影響なし。	乾物卸売業
	新型コロナウイルスの影響で、「ふく」を扱う高級料理店の客足はまだ戻らず、観光客は少しずつ戻ってきてはいるが、まだまだ厳しい状況が続いている。	生鮮・魚介卸売業
	新型コロナウイルスの関係で総合食品卸（食品・酒類）の売上は増加している。	各種商品卸売業
小売業	緊急事態宣言が解除になったが、客足も売上もあまり伸びていない。皆マスクをするようになったのでメイクに必要な色物（ルージュやチークなど）が売れなくなったそうである。従業員のことなどを考えて、しばらく閉店して助成金をもらうお店もあったが、その中でも頑張って前年の売上げを出しているお店も数店あった。	化粧品小売業
	農家の超高齢化、昨年の消費税増税の影響や、新型コロナウイルス感染拡大に伴う展示会の開催中止等の影響が大きく、商品の買い控えが見られる。	農業用機械器具小売業
	新型コロナウイルスの影響で、家電の売上げは5%ダウン。6月に入り、個々の組合員店舗でミニ展示会を開催し、暑さもあり、エアコンと冷蔵庫の売上げが伸びてきている。	機械器具小売業

	<p>給付金や各種の支援制度によって一時を凌いだ小売業界だが、依然として日銭を積み上げる売上は低迷している。新型コロナウイルスに係る規制や制限もほとんど解除され、岩国米軍基地内でも7月からはほぼ正常に戻り、岩国空港の航路も2便に増便された。今後は売上の回復に努める傍らで、コロナ禍の営業スタイルや利益構造を組み立て直す作業が各所で必要となる（例えば多人数宴会は極めて希な社会になるなら、大箱を有している居酒屋は個室に改装するなどの措置）。また、コロナ禍の利益体質の変化や損益内容の変化、また価値観や優先順位の変化に対して的確に対応しなければ、大きなロスが生じる危険性がある。これらのリスクを総括的に捉えた経営戦略が望まれる。</p>	各種商品小売業 岩国市
	<p>新型コロナウイルス禍、商店街への来街者は激減傾向が続いている。</p>	各種商品小売業 周南市
	<p>新型コロナウイルス緊急事態宣言が解除となり、閉店していた飲食業等が開店したが、まだまだお客の来店がなく、「開店休業状態」の声を聞く。小売業では、少しずつ売上も上がってきているが、新型コロナウイルス感染拡大前までの状態には達していない。</p>	各種商品小売業 下関市
商店街	<p>コロナウイルス禍、厳しい状況は変わらないが、国の給付金を受けたので何とか今年度の商店街運営の見通しは立ちそうである。</p>	宇部市
	<p>全国的に緊急事態宣言が解除され、他県の自動車は若干見るが、観光客も警戒をしているのか売上にはつながらない。組合員店舗では、「人の通りが全くない。イベントはどうなっているのか。イベントをしないと宣伝にもならない。売上の方は緊急事態宣言の期間中と変わらず厳しい。」と話している。</p>	萩市
サービス業	<p>6月になり、近隣の移動制限が解除されたり、飲食店の休業が緩和されたりで、人々の動きが活発になった。同業者の集まり等も始まり、そこで聞いた話ではあるが、4、5月の売上げ30%～50%減であった店舗も、今月は対前年同月比で120%超や、6月中旬で6月末までの予約がいっぱいであるなど、4、5月に来店を自粛した客が来店している状況であるようだ。</p>	美容業
	<p>新型コロナウイルスの緊急事態宣言解除後も外出自粛の模様で、客数の減少傾向。</p>	理容業
	<p>自動車整備業に関連する法令・通達で規定されている研修会等が、新型コロナウイルス感染拡大の影響からストップしていたが、緊急事態宣言の解除や都道府県をまたぐ移動制限の解除により、国もようやく動き出し7月から開催されることになった。これにより、4月に「改正車両法」が施行され整備業の新たな認証制度を取得するための要件となる「整備主任者資格取得</p>	自動車整備業

	研修」もようやく開催されることになり、新たな認証取得に向けようやく前に進むことができることになる。	
	新型コロナウイルスで、被害甚大。入会者が非常に少ない状況が続いている。今後の回復は、コロナウイルス次第である。	スポーツ・健康教授業
	6月に入り、業界内では売上が戻りつつあるようである。しかし、100%の回復ではなく、4月、5月の売上を取り戻すのは厳しい状況で、衣替えシーズン終了後の7月からの閑散期を心配する声も多い。また、旅館やゴルフ場など行動自粛の影響を大きく受けた業者との取引が多いクリーニング店は、いまだに厳しい状況が続いている。	普通洗濯業
	少しずつお客様が戻られた感じである。まだまだ油断なく状況をみていきたい。	飲食業
	売上は、対前年同月比で5月のほぼ100%減少から90%減少となった程度である。	旅行業
	対前年同月比で宿泊人員4割強、売上4割弱と回復傾向。湯田温泉・山口市のプレミアム宿泊券の効果が表れている。	旅館業 山口市
	新型コロナウイルス緊急事態宣言が解除され、経済活動が少しずつ再開し、ビジネス客は戻りつつあるが、観光客はまだまだである。「Go To トラベル」、「山口県プレミアム宿泊券」を見越して待っている人も多い模様。	旅館業 下関市
	コロナウイルスの影響により飲食事業は休業中。経費削減のため入浴施設の一部を週休4日としており、入浴者数は25%の減少が続いている。営業利益確保に向けて経費削減を試みるも、売上高の減額、固定経費もあり、厳しい状況の継続である。	旅館業 長門市
建設業	中電への工事申請111件(当支部91件)、前年同月170件(同141件)。太陽光発電への申請15件(前年31件)、オール電化申請65件(前年111件)。LED街路灯への切り替え・設申請25件(前年11件)であった。	電気工事業
	新型コロナウイルスによる工事現場の閉鎖はなかったが、来年以降予定されていた工事の中止や新規工事の減少が懸念される。業界の規模の縮小が更に進む。	左官業
	新型コロナウイルスの影響はほとんど無い。今年度は、後継者養成と技術継承の意味もあり、5月より順調に入札・発注がなされており、組合員も順調に仕事をこなしている。組合事務局が2名体制から1名体制となり、忙しくしている。	管工事業

	<p>土木建設に関して、当組合では、著しい変化は見えない。過年度の災害復旧などの事業が継続していることが、背景にあるものと思われる。新型コロナウイルスの自粛規制が解除となったものの、全面的な終息は未だ見通せない。全ての産業が、失速している。インバウンドにおいては、来日観光客の減少率 99.9 パーセントと発表されている。もはや比較の段階ではなく、100が0になった事を意味している。国は、支援策を次々と講じてはいるが、予断を許さない現状では、これから数か月後には、惨憺たる市場経済が予想されている。</p>	<p>土木工事業 柳井市</p>
	<p>2年6月の受注高は、対前年同月比 199.9%。今年度累計では、対前年比 143.5%。昨年の発注量、受注額は少なかった。今年は「小郡・萩道路」の工事により、量、金額とも昨年より増加している。</p>	<p>土木工事業 萩市</p>
	<p>土木工事については、前年並みで推移。県発注舗装工事については、今時点で前年度実績の 148%。</p>	<p>土木工事業 長門市</p>
	<p>新型コロナウイルスの影響で、売上が減少。</p>	<p>内装工事業</p>
	<p>本格的な梅雨に入り天候不順で受注工事の消化が出来ないため、工事高は減少傾向である。7月半ば頃の梅雨明けまで暫くこの状況が続くと予想している。梅雨明け以降は、猛暑のため仕事はかどらず、一年で最も過酷な作業を強いられる季節となる。</p>	<p>屋根工事業</p>
	<p>新型コロナウイルスの影響による工事量や見積依頼の減少で、工事価格の低下が危ぶまれる。一段と組合員同士で情報を共有し適切な対応に努めたい。</p>	<p>鉄骨・鉄筋工事業</p>
運輸業	<p>輸送関係は新型コロナウイルスの影響が日毎大きく、輸送量が激減。組合取扱は、国内向け輸送が一日平均 2～3 台のみで、輸出はゼロに等しい。売上は対前年同月比 68%強のマイナス。中小運送業の労使ともども、生活基盤が崩れ廃業の一手手前の状況にある。燃料費は 7.05 円の値下げ。以前から、軽油引取税の一考を強く願っているこの業界である。</p>	<p>一般貨物自動車運送業 下松市</p>
	<p>組合の売上自体は保管料の見直し等により 9%程度の増加。しかしながら、新型コロナウイルスに伴う自動車メーカーの生産調整等により輸送取扱高（組合扱い）については 70%程度の減少。組合員にとっては非常に厳しい状態にある。自動車関連については、8月以降やや改善の見通しとあるが、あくまで見通しであり、今後どのように移り変わるかは全くわからない。</p>	<p>一般貨物自動車運送業 防府市</p>
	<p>新型コロナウイルスの影響により、荷動きは相変わらず鈍い。特に製造業関係のお客様等の一時帰休によるものが大きい。食品関係・雑貨関係の輸送関係は逆に好調の様相である。倉庫保管の案件も好調に推移している。</p>	<p>一般貨物自動車運送業 宇部市</p>

	<p>タクシーチケットの取扱い金額（税込み）は、前年比▲52.9%（令和2年5月1日～令和2年6月20日分）。5月1日～31日分は▲69.0%、6月1日～20日分は▲52.9%。当組合の取扱いタクシー事業者は、光市、下松市、周南市、防府市の地域。5月分については、周南▲70.5%、下松▲74.6%、光▲70.9%、防府市地区が▲65.9%で、組合員の全域では▲70.4%、地区外（員外）▲49.9%（4月分が5月に到着受託）、合計▲69.0% ▲13,582千円）だった。主要燃料であるLPGについては、CP（通告価格）と為替に連動して変動する。CPが上がり（前月290.0\$/トンが今月335.0\$/トン、前年472.5\$/トン）、輸送用バンカーC重油も上がり（前月248.0\$/トンが今月270.0\$/トン、前年410.0\$/トン）。為替は円高（前月108.96円/\$が108.35円/\$）。燃料単価は前月より5.2%上がったが、前年同月比は▲11.6%と下がっている。タクシー乗務員は労働条件が厳しい（賃金が少ない）事もあって慢性的に不足しているが、新型コロナウイルスの影響で需要が激減。乗務員募集は中断する所もあるようだが、将来の景気回復を見据えて、休業補償等で、人員確保に苦心しているような状況。緊急事態宣言が解除され、少しずつ、企業の出張移動、会合などが動き始めているようだが、まだ前年同月比：▲53%。特に夜間の飲食関係の利用回復にはまだまだ時間がかかりそうに思われる。定額給付金で需要が発生しそうに思えたが入金が遅れていることもあり、期待外れになりそうにも思われる。</p>	一般旅客自動車運送業
	<p>今月の取扱高は対前年同月比で減少している。前年度の取扱高が若干良かったことが大きく、次いで新型コロナウイルス禍の影響があったように感じる。港湾荷役の売上高の減少は15%内外と思われる。</p>	港湾運送業
その他	<p>新型コロナウイルス感染症の影響が、組合員(医療関係・介護関係)にも多かれ少なかれある様子である。今回の件で今後の諸外国の技能実習生受入に際し、心配されている部分もあり、組合としても慎重に対応を進めているところである。</p>	介護事業